様式３（2020.08改）

作成日　令和3年3月18日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370400794
事業所名	グループホーム　ひまわり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	「地域に必要とされる施設でありたい」との法人理念の下、これまでは積極的に地域交流を図ってきたが、コロナ禍によってほとんどの取組みが中断している。 町内会に加入しており、回覧板で地域の情報を取得し、毎月発行の「ひまわりだより」を、回覧板を使って地域に発信している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、今年度の4月、8月、12月、2月の運営推進会議は書面開催となった。 比較的感染状態が沈静化していた6月、10月は通常開催し、家族代表、いきいき支援センター(地域包括支援センター)職員、町内会長、老人会会長、町内会役員等々が参加して議事の討議や意見交換を行った。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には、毎回、いきいき支援センター(地域包括支援センター)の職員の参加があり、様々な情報の提供がある。 コロナ禍により、市や区の担当者とは、必要に応じて電話で連絡を取っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	一時期は全面的に家族等の面会を禁止していたが、現在では一定の制限下で面会を認めている。ビニールシートを挟んでの対面であり、1家族2名、面会時間5分以内として実施している。 面会の際に家族の意見・要望を聞き取り、毎月「ひまわりだより」を送付して利用者の様子やホームの状況を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮し、今年度の4月、8月、12月、2月の運営推進会議は書面開催となった。
しかし、比較的感染状態が沈静化していた6月、10月は通常どおり開催した。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										